

親子で

いっぱい考えて、
いっぱい話そう!!

「リライト教材による国語学習」



WELCOME !



国語・日本語を学びたい外国人の小中学生も

国語学習に困難を感じている小中学生も

① 「リライト教材による国語学習」とは？

【外国人・特別支援 児童生徒を教えるためのリライト教材】(改訂2版)
(ふくろう出版) 巻頭

（教科書）
お孫が、すぎると、ごんは、村の墓地へ行って、六地蔵さんの かげに
お天気で、遠く向こうには、おしろの屋根がわが光っています。墓地は
のようにさき続いていました。と、村の方から、カーン、カーン、かねが響
きの出る合図です。
やがて、白い着物を着たそれらの者たちがやってくるのが、ちらちら見
も近くなりました。そういつは、墓地へ入ってきました。人々が通ったあとに
残っていました。
ごんは、のびよって見ました。兵十が、白いかみしもをきつて、いはい
もは、赤いさつまいもをいのおかあが、今日はなんかしおれい
「ははん、死んだのは、兵十のおかあだ」とごんは、そう思いながら頭を引
き、ごんは、あなの中で考えました。「兵十のおかあは、とにつ
べたいと言ったにちがいない。それで、兵十が、はりきりあみをもち出したん
だにすぎない。うなぎを取ってきてしまった。だから、兵十は、おかあに
うなぎが食べたいと思いついたんだらう。ちよつ、あんなにうなぎを
うなぎが食べたいと思いついたんだらう。ちよつ、あんなにうなぎを

「ごんぎつね」 新美 南吉

（リライト教材）
お孫すぎ、
ごんは、
村の墓地へ 行きました。
ごんは、
かくれて 見ていました。
いい お天気です。
墓地には、
赤い ひがん花が、さいっていました。
そうしきが、
兵十の家から 出ます。
そうしきの行列が 来ました。
兵十は、
とても かなしそうです。
「ははん、
死んだのは、
兵十の おつかあだ」と、
ごんは、思いました。
そのぼん、
ごんは、あなの中で 考えました。
「兵十の おつかあは、
きつと 病気がつたんだ。
それで、
おつかあは、
うなぎが 食べたいと
言ったんだ。
でも、
おれは、
兵十の うなぎを 取った。
おつかあは、
うなぎを 食べる ことが
できなかった。
そして、
おつかあは 死んだんだ。
ちよつ、
あんな いたすら しなけりやよかつた。」

学校と同じ内容の単元を
理解できるまでじっくり
と時間をかけて学びます。

個人の日本語力に合った
レベルの教材を作成し、
使用します。

文節を区切ったり、やさしい表現に
言い換えたりするので、苦手だった
文章も読みやすくなります。

リライト教材とは、実際使用している国語の教科書の表現を子どもの日本語力に合わせてやさしく書き換えた教材です。リライト教材を使って、個人のレベルに合わせた学習を行うことで「考える力や話す力」が向上します。

教科書も併用します。

② 親子で『いっぱい考えて、いっぱい話そう!!』

絆を深める親子学習の場所・きらりん

週に1回1時間、しっかり子どもと向き合い、いっしょに学習活動をする時間は、親にとってはわが子の興味や能力などを新たに見つける機会になります。また、子どもにとっては親に認められ大きな自信につながる貴重な時間になります。

外国人の親子が、母語も大切にしつつ、親子ともに、「国語・日本語」を学ぶことのできる場所です。

ひとりひとりに合った教材の準備や、教え方のアドバイスなど、教師経験者のボランティアスタッフが親子学習をサポートします!



きらりん（リライト教材による活動）

きらりん（リライト教材による活動）について

1. 活動場所 ゆうあいセンター／きらめきプラザ2階
（岡山県岡山市北区南方2丁目13-1）
2. 活動日時 毎週土曜日 14時～15時
（それぞれの都合の良い時にご参加ください。）
3. 参加対象 国語学習に困難を感じている小中学生とその保護者
国語・日本語を学びたい外国人の小中学生とその保護者
（障がいがあるお子さんも学習しています。）
4. 参加費用 1回 500円（会場費、教材代として）
5. 持参する物 飲み物、筆記用具、国語の教科書、国語辞典



※ 教員経験のあるボランティアスタッフが、ひとりひとりに合った教材の作成や教え方のアドバイスなど、親子での「リライト教材による国語学習」をサポートします！

いつでも
見学OKです！

※ 参加希望の方は、以下までメールにてご連絡ください。

ton.ton.mitsumoto@ezweb.ne.jp

『リライト教材による国語学習』を 一緒に学びませんか？

代表者の光元聰江は、リライト教材の開発者です。「きらりん」で、リライト教材の作成法、指導法を学びたい方、子どもたちへの学習支援に関わりたい方も募集しています！



光元聰江（みつもととみえ）

元 岡山大学教育学部助教授
第31回読売教育賞（国語教育部門）受賞。小学校国語教科書分析などを行い「リライト教材」を考案。

●参加した保護者の声

「何事にも自信がなく、発表もモジモジ恥ずかしそうにしていた息子が、今は発表することに楽しみを感じ、どうやったらみんなに分かりやすく伝えられるか、自分なりに考えて学習するようになりました」

「きらりんでは、『きらりんマジック』（と私が勝手に呼んでいる）というミラクルなことがしばしば起こるが、発表が苦手な二人（姉妹）が短期間で母の助けなしに発表し、学校でも積極的に手を挙げるまでになっている。これこそが本当にきらりんの魔法だと思う」

「きらりんの先生方に『いつでもここへ戻っておいで、いつでも待ってます』という温かい言葉を掛けていただき、息子の居場所を作っていただけたことに、心から感謝の気持ちでいっぱいです」